

講義コード	B1002403	開講年度	2022	講義区分	講義	講義開講時期	後期
講義名	教養基礎セミナー2①			開講学期	1	基準単位数	1.00
(副題)	(教養基礎セミナ)	実務経験		開講曜日	火曜日	開講時限	2時限
開講学部・学科	工学部先端工学基礎学科			科目分類名	教養科目		
英文科目名	Basic Academic Seminar 1(1)			科目分野名	ナンバリングコード1011		
担当教員	教育職員	◎ 浅野 幸治		職名	准教授	asano@toyota-ti.ac.jp	
担当教員	教育職員	江口 建		職名	教授	eguchi@toyota-ti.ac.jp	
担当教員				職名			

※担当教員が複数の場合は3名まで表示しています

授業の目的・方針

授業の最初のほうでは、大学生にとって必須な技術、すなわち論理的な文章を書く技術を簡単に復習する。その後は主に、具体的な問題を例に取り上げて、論文を書く練習をする。

授業の達成目標

- ① 客観的で平明な文章を書けるようになること。
- ② 論文の作法を身につけること。
- ③ 実際に頭を使って自分の考えをまとめ、レポートや研究論文を書けるようになること。

学習・教育目標

【学部ディプロマポリシーに基づく。〔対応する授業の達成目標〕】

- ◎ (i) 日本語による的確なコミュニケーション能力および英語等の外国語による基本的なコミュニケーション能力〔①～③〕
- (ii) 物事に対して幅広い見方、論理的な考え方ができるとともに、説明できる能力〔①～③〕
- (iii) データ科学を含む十分な工学基礎の知識を修得し、それを工学分野の学習に適用する能力〔 〕
- (iv) 機械システム、電子情報および物質工学の各分野の基礎知識〔 〕
- (v) 機械システム、電子情報および物質工学の各分野の内少なくとも1分野の専門知識・技術〔 〕
- (vi) 目標を把握し、創造性を発揮し解決策を立て、問題を解決する能力
および協調してチームとしての目標達成に寄与することができる能力〔 〕
- (vii) 修得した学識と能力を活用し、技術者の果たすべき役割と社会的責任を理解しつつ、
研究を遂行できる能力〔 〕

授業形式

2クラス編成（前半クラス）

◆ICTを使用する授業（左に○）

クリッカーを用いた小テスト、Zoom等を用いた投票機能、チャットを用いた質問受付等

◆アクティブ・ラーニング型の授業要素（番号左に○）

- (1) PBL（課題解決型学習）
- (2) 反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う）
- (3) ディスカッション、ディベート
- (4) グループワーク
- (5) プレゼンテーション
- (6) 実験、実技、実習およびその要素を含む科目、フィールドワーク

成績評価方法

〔 〕内は対応する授業の達成目標

宿題1回 10%〔①②③〕、レポート3回90%〔①②③〕

宿題やレポートは、添削をして返却し、授業内で解説も行う。

10回以上出席していることが、成績評価の前提条件である。言い換えると、出席回数が10回に満たない場合、自動的に不合格になる。

オンライン授業の場合も成績評価方法は同じとする。

講義コード	B1002403	講義名	教養基礎セミナー2①
-------	----------	-----	------------

教科書

【削除】

浅野幸治「小論文の書き方」配布資料

他にも資料を配る。

参考書、文献

- (1) 戸田山和久「新版 論文の教室」(NHK出版)2012年 ISBN No. 978-4-14-091194-5
- (2) 野矢茂樹「新版 論理トレーニング」(産業図書)2006年 ISBN No. 978-4782802113
- (3) 伊勢田哲治著「哲学思考トレーニング」(ちくま新書)2005年 ISBN No. 978-4480062451
- (4) 小河原誠著「読み書きの技法」(ちくま新書)1996年 ISBN No. 978-4480056597
- (5) 河野哲也著「レポート・論文の書き方入門 第4版」(慶應義塾大学出版会)2018年 ISBN No. 978-4766425277
- (6) 山内志朗著「ぎりぎり合格への論文マニュアル」(平凡社新書)2001年 ISBN No. 978-4582851038
- (7) 木下是雄著「理科系の作文技術」(中公新書)1981年 ISBN No. 978-4121006240
- (8) 本多勝一著「<新版>日本語の作文技術」(朝日文庫)2015年 ISBN No. 978-4022618450
- (9) 大野晋著「日本語練習帳」(岩波新書)1999年 ISBN No. 978-4004305965
- (10) 里見惇著「文章の話」(岩波文庫)1993年 ISBN No. 978-4003106051

授業オフィスアワー

(曜日・時間帯・場所等)

授業時間後(休息时间)、研究室にて

そのほか、質問・相談受付方法について、授業内にて指定する。

準備学習、注意事項

授業時間外の学習 [準備学習等]、および学習上の注意事項

事前学習は必要ありません。事後学習は、授業内容の振り返り・確認と、宿題やレポートの準備・作成に1~2時間くらい必要だと思います。

レポート課題が3回あるので、課題を執筆・提出することが必須である。

講義コード	B1002403	講義名	教養基礎セミナー2①
-------	----------	-----	------------

回	時限/年月日/担当	テーマ	内容・達成目標	範囲（章、ページ番号）
1		序論	全体の見通し	
2		論文の書き方1	論文とは何か	浅野：1～2
3		論文の書き方2	議論とは何か	浅野：3～4
4		論文の書き方3	文章とは何か	浅野：4～8
5		悪文の検討1		
6		悪文の検討2		
7		論文の論点1	人工妊娠中絶の是非1——生命尊重派	
8		論文の論点1	人工妊娠中絶の是非2——選択権尊重派	
9		論文の論点1	人工妊娠中絶の是非3	
10		論文の論点2	死刑制度の是非1——廃止論	
11		論文の論点2	死刑制度の是非2——存置論	
12		論文の論点2	死刑制度の是非3	
13		論文の論点3	原子力発電の是非1——推進派	
14		論文の論点3	原子力発電の是非2——反対派	
15		論文の論点3	原子力発電の是非3	
16		定期試験（レポートで代替）		

